

今月の課題

3速でのドリフト(補習)



▲今月はサイドブレーキを使っただけの進入のしづだったんだけど、チンコ先生からダメ出しを食らったマサ&竹ちゃん。てなワケで、場所をエビスサーキットのドリフトランドに移してまたまた3速進入の特訓だ。コレがうまくできないと、大会出場なんて夢のまた夢だからね。しかし、思わぬトラブルが……!?

30歳から始める

目指すは三十路の星!

ドリフト

修練塾

SPL



さて、今回は大会出場に備えてサイドブレーキの使い方を徹底的に教えるはずだったんだが、なにしろ前回のデキが悪かったからね。サイドドリを教える前に、3速進入を完璧にマスターしてもらわないと次に進めない!

ということでエビスサーキットのドリフトランドで補習決行。いろいろなコースレイアウトで走行できるので、練習にはもってこいといえるコースなんだ。ココの外周を使って、「3速でクラッチを蹴って進入して、出口で2速に落として立ち上がる」という課題を与えてみた。

ちなみに前回までの練習場所、富士のドリフトコースと最も異なる点は、土手が近いうえでコース幅が狭いということ。とはいえこの程度の狭さにビビってたんじゃ、大会なんてとても無理。多少コースアウトするのは覚悟のうえだね、こりゃ。

とはいえ、まさかここまでやっちゃまうとは……。速度のコントロールや飛距離の計算が、まったくできていない証拠だよ。

最大の問題はライン取り。マサも竹ちゃんも、これがまったくなっちゃいない。毎回テキトーに走ってるだけで、リヤが流れるポイントもカウンターの当てるタイミングもバラバラ。大会ではライン取りも重要な審査ポイントになるから、こんな走りじゃ予選通過すら見込めないぞ。

ちなみに、上級者になればなるほど先を讀んで走るんだ。たとえば、「コーナーのクリップ近辺であの位

置にいたいから、その手前はここを通る」とかね。つまり、引き算をしてるってわけ。オイラの場合、初めてのコースではいきなり全開するんじやなく、コースをよく見たり歩いたりして自分の走りをイメージする。

マサと竹ちゃんは、この「考える」って作業が足りなかったのかも。とりあえずドリフトさせることで頭がイッパイになつてしまひ、余裕がなくなつたのが根本的な原因かな。

ま、今回は自走で帰れるレベルのダメメジでよかった。3速といえども、スピードが遅かったのが幸いしたんだろかね。派手にコースアウトしたことだし、次の練習までにアライメントや下まわりを各自でチェックしておくこと!



特訓開始から1年の技能見極めで

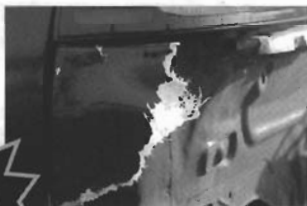
坂東マサ&竹ちゃん、 エビスサーキットに 散る……!?



●同じくリヤをヒットして、フェンダーまでボコボコになった竹ちゃん号。バンパーはかろうじて残っているものの、補強バーの多い車体だけに逆側までダメージが伝わっている可能性が高い。なら買い替えたほうが安い!?

じつは今回が初の クラッシュ!

●3速で進入して、そのままアウト側の土手にリヤをぶつけたマサ号。リヤバンパーはどこかに飛んでいったけど、貴重(?)なアルテッツァ顔に傷ひとつつかなかったのはラッキー!? さすがにリヤのトローはスレたみたいだね。



坂東マサの 被害状況

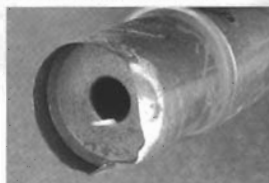


竹ちゃんの 被害状況

▼意外なダメージがもうひとつ。マフラーのサイレンサーを外すのを忘れて走っていたおかげで、クラッシュでこんな有様に。コレって、もう二度と外せないんじゃないの?



▲後ろだけじゃなく、フロントからもざっくりと土手に。雪の壁でダメージはかなり軽減されたけど、右だけワイドフェンダーになった。左右均等ならよかったのに……!?



実例 横っ腹から壁に突っ込む



飛距離が出すぎました...

▶雪にハマった竹ちゃん号。スタックから脱出するときは乱暴にアクセルを踏んじやダメなのに、...やっぱり「暴走特急」でした。



●このクラッシュの原因は2つある。ひとつはリヤを流し始める位置を間違えていること。あまりにもアウト側からクラッチを蹴って流したせいで、ラインが外にはらみすぎてしまったんだ。スピードの乗り方にもよるけど、今回の場合はコース中央あたりで蹴るのが正解だな。もうひとつは慣性でリヤを流そうとしてアウト側に寄せすぎてしまい、なんとか流せたもののコース幅に余裕がなくてドッカン。ちゃんとイメージトレーニングできていれば、たぶん防げたんじゃないかな？

なぜ彼らは失敗したのか？

徹底検証！

3速ドリの練習どころか、クラッシュシーン特集みたいになっちゃった……。でも、ビギナーのドリ練習でのクラッシュは、いつ起きてもおかしくないんだ。マサ&竹ちゃんの失敗を教訓として、事故を減らすためにも原因と対策はシッカリ研究しなくちゃ！ 当事者はもちろん、ドリフト練習中の人にはよく読んでね。

実例 真っ正面から壁に突っ込む



●この事故の原因は、出口でスピードが落ちすぎて、リヤタイヤがグリップを回復してしまっただけ。普通ならもっと手前、コーナーの真ん中くらいで同じ症状が出がちなんだよね。で、連発コース幅が狭いということもあり、なすべなくそのままガシャーン。3速から2速にシフトダウンすることは十分に気を取られ、スピードコントロールがおろそかになっている証拠だな。要緊案！

だって怖いもん！

実例 相変わらずのアンダーステア



●慣性で流そうとしてアンダーっていうのならまだ許せないでもないけど、マサはクラッチ蹴りでもアンダーを出していたからな〜。進入スピードが遅すぎたり、フロントに荷重が乗っていないと、クラッチを蹴っても単に挙動が乱れるだけになっちゃうんだ。それと、蹴り方にも「強・中・弱」がある。車速や角度によって使い分けないとダメだぞ！ 中級者を名乗るなら、それくらいはマスターしよう。



コレはもはや得意ワザ！



▲進入スピードが遅すぎてスピン。次は遅すぎてアンダー、というのを延々と繰り返していたマサ。習字はわかるんだけど……

実例 立ち上がりでほぼ間違いなくスピンする

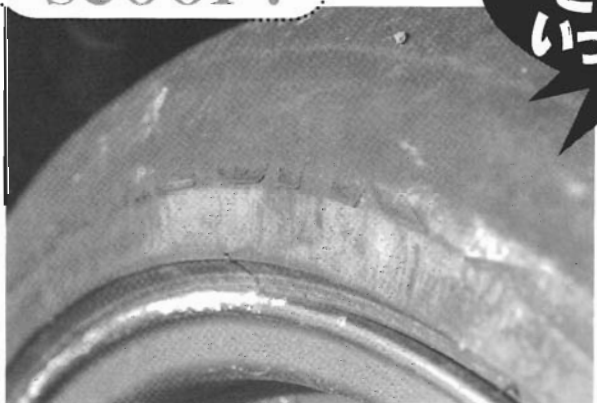


どこが悪いのかわからん！



SCOOP!

さて問題です。このタイヤはいったいなに？



●走行が終わった竹ちゃん号のフロントタイヤをチェックしたチンコ先生が、思わず絶句した。サイドウォールの「RE-01R」という文字が半分以上消えているのだ！ こんな減り方をしたタイヤは見たことかというか、どれだけアンダーを出せば気が済むのやら……。あの〜、この企画って「ドリフト」の練習なんですけど……。どうやら「アンダーソン」はマサだけじゃないらしい。こんな運転じゃ、せっかくのタイヤもつたいないぞ！



チンゴ先生からのアドバイス

やってることは2速のときと一緒！
スピードにさえ慣れれば
問題ナシ

▼だから最初に怖いって言ったのに……とガックリ肩を落とすマサ。リヤバンパーこそなくなったけど、被害は竹ちゃんより軽微？



▲フロント、リヤ、サイド、そして下まわりに至るまで、くまなくヒットした竹ちゃん号。本格的に板金したらいくらかかるんだ？

マサ&竹ちゃんは今回も落第！
どうやって教えりゃイイんだ？



●3速のドリフトができないと悩むキミに、もう一度やり方を説明しよう。①の地点では3速で加速中という状態にしておきたい。②のあたりでクラッチを蹴ってリヤを流す。アウトに寄りすぎてから蹴るとそのまま壁に突撃しちゃうので、コースの真ん中くらいで蹴ることを忘れずに。流れたらすかさずカウンターを当てるんだけど、そのタイミングが遅れるとイン側に巻き込んでしまう。そして、③のポイントくらいまではアクセルオン。そうしないと出口までドリフトが続かないからね。そこからはブレーキングで車速と姿勢を落ち着かせて④の手前で2速にシフトダウン。スピードが適切に落ちていれば、シフトダウンしても挙動はあまり乱れないぞ！

コレじゃ～大会なんて
夢のまた夢！?

再び基本から
たたき込むぞ！

30歳から始める

目指すは
三十路の壁！
ドリフト
修練塾



●1速まで使いそうなインフィールドと、3速ドリフトの練習も可能な外周で構成されるエビスサーキットのドリフトランド。冬期もコース上は除雪しているので、走れちゃうのがウレシイ。ただしサーキット近辺の一般道は、スタッドレスタイヤがないと厳しいかも。

次号予告

冬ならではの「雪ドリ」は基本練習にピッタリなのだ

●そろそろ先のカリキュラムに進みたいのは山々なんだけど、この様子じゃまだまだ合格には程遠いな～。よし、ここはいっぺん基本に戻って、正確な操作ってのを身につけさせよう！ 練習場所は……この季節だし、雪上もいいかも。流れるスピードはかなりゆっくりだから落ち着いて操作できるし、雪の壁なら当たってもダメージはほとんどない。天候次第だけど、次号は雪上特訓の予定！

